

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	上野鉄工場	階数	地上1F-地上2F
建設地	静岡県浜松市北区初生町1098-1,10	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、用途地域指定なし	平均居住人員	33人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,080時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 0.0	評価の実施日	2023年11月22日
敷地面積	2,989 m ²	作成者	中島英徳
建築面積	1,170 m ²	確認日	2023年11月22日
延床面積	2,280 m ²	確認者	中島英徳

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)																											
BEE = 0.7 ★★☆☆☆		30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆☆		Q2 サービス性能																											
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C: ★ <p>このチャートは、総合評価(G)と環境負荷(L)の関係を示す。Y軸はG(0~100)、X軸はL(0~100)である。点線で0.7が示されている。</p> <table border="1"> <caption>チャート上の値</caption> <thead> <tr> <th>領域</th> <th>G</th> <th>L</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S</td> <td>36</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>46</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>B+</td> <td>36</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>B-</td> <td>46</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>36</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>		領域	G	L	S	36	3.0	A	46	1.5	B+	36	1.0	B-	46	0.5	C	36	0.0	<p>標準計算</p> <table border="1"> <caption>標準計算の割合</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>74%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>74%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>74%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(kg-CO₂/年・m²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したもの</p>		項目	割合	①参照値	100%	②建築物の取組み	74%	③上記+②以外の	74%	④上記+	74%
領域	G	L																													
S	36	3.0																													
A	46	1.5																													
B+	36	1.0																													
B-	46	0.5																													
C	36	0.0																													
項目	割合																														
①参照値	100%																														
②建築物の取組み	74%																														
③上記+②以外の	74%																														
④上記+	74%																														

2-4 中項目の評価(バーチャート)	
Q 環境品質	Q のスコア = 2.4
Q1 室内環境	Q1のスコア = 3.0
Q2 サービス性能	Q2のスコア = 2.5
Q3 室外環境 (敷地内)	Q3のスコア = 1.9
LR 環境負荷低減性	LR のスコア = 3.1
LR1 エネルギー	LR1のスコア = 3.4
LR2 資源・マテリアル	LR2のスコア = 2.6
LR3 敷地外環境	LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項	
総合	その他
これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。	特になし。
Q1 室内環境 仕上材等の建材はF☆☆☆☆を使用する。	Q2 サービス性能 建物の階高、天井高はゆとりを持たせ将来の用途変更の可能性に配慮した。
LR1 エネルギー モデル建物法による検討を行い省エネルギーに対応しました。 BEImは0.46です。	LR2 資源・マテリアル 各部分において解体等が容易な部材、再資源化の可能な材料の使用に配慮しました。
LR3 敷地外環境	Q3 室外環境 (敷地内) 建物の周囲空間は余裕のあるものとし、周囲に緑地を確保する等、敷地内空間の環境に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフケイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要

建物名称	上野鉄工場	BEE	0.7	BEEランク	B-	★★
------	-------	-----	-----	--------	----	----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点 [*] /満点	取組み度	評価	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.8	/5	がんばろう	
"災害に強いしづおか"の形成 (Disaster)	2.5	/5	がんばろう	
"しづおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.8	/5	がんばろう	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.4	/5	がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)	評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について記述した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。	内訳対応項目									
	得点		2.8							
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)										
■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)	Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能				
	Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備				
			3.2	3.2.1	③	昼光制御				
	Q-2	2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数				
			2.2.2	2.2.4	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔				
			2.2.3	2.2.5	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔				
			2.2.4	2.2.6	④	空調換気ダクトの更新必要間隔				
			2.2.5	2.2.6	④	空調・給排水配管の更新必要間隔				
						主要設備機器の更新必要間隔				
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤外構緑地指數10%以上を確保した。 ⑥緑地の縁が連続するよう外構植栽計画を行った。	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出				
		3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上				
■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑨LED照明の採用。高効率空調機の導入。	LR-1	1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制				
		2			⑧	自然エネルギー利用				
		3			⑨	設備システムの高効率化				
		4	4.1		⑩	モニタリング				
			4.2		⑪	運用管理体制				
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑬R32冷媒を使用している。	LR-2	1	1.1		⑪	節水				
			1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無				
				1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無				
	2	2.1			⑫	既存建築躯体等の継続使用				
		2.2			⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用				
		2.3			⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				
		2.4			⑫	持続可能な森林から産出された木材				
		2.5			⑫	部材の再利用可能性向上への取組み				
		2.6			⑬	有害物質を含まない材料の使用				
	3	3.1			⑬	消火剤				
		3.2	3.2.1		⑬	断熱材				
			3.2.2		⑬	冷媒				
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑮主風向に対する見付面積比を40%以下とした。	LR-3	1			⑭	地球温暖化への配慮				
		2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善				
"災害に強いしづおか"の形成(Disaster)										
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性				
			2.1.2		⑯	免震・制振性能				
		2.4	2.4.1		⑰	空調・換気設備				
			2.4.2		⑰	給排水・衛生設備				
			2.4.3		⑰	電気設備				
			2.4.4		⑰	機械・配管支持方法				
			2.4.5		⑰	通信・情報設備				
"しづおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)										
■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり) ⑯機械の更新性に配慮し階高を高くした。 ⑯鉄骨ラーメン構造とし壁長さ比率を低くした。	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑯⑲	ユニバーサルデザイン計画				
		3	3.1	3.1.1	⑲	階高のゆとり				
				3.1.2	⑲	空間の形状・自由さ				
■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮)	Q-3	3	3.1		⑲	地域性への配慮、快適性の向上				
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)										
■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉑まちなみ・景観への配慮/㉒敷地内温熱環境の向上) ⑳外構緑地指數10%以上を確保した。 ⑳緑地の縁が連続するよう外構植栽計画を行った。	Q-3	1			㉑	生物環境の保全と創出				
		2			㉑	まちなみ・景観への配慮				
		3	3.2		㉑	敷地内温熱環境の向上				
■敷地外環境対策 (㉒持続可能な森林から産出された木材/㉓温熱環境悪化の改善)	LR-2	2	2.5		㉒	持続可能な森林から産出された木材				
	LR-3	2	2.2		㉓	温熱環境悪化の改善				